

# スーパーファンド・ジャパン サブファンド：ブラック ブロックチェーン

ブロックチェーン技術は第4次産業革命における革新的技術の一つです



## 近未来のデジタル社会

ブロックチェーン技術関連株式への投資

## 世代を超えた長期的な投資戦略

過去の運用実績は将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。お申込みの際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)などの詳細をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

目論見書はこちら

**Superfund**  
**BLOCKCHAIN**



# サブファンド:ブラック・ブロックチェーンの概要

新たな資産価値を創造するテクノロジーに注目した株式投資戦略  
ブロックチェーン・テクノロジーというテーマに絞った株式ファンドです。

ブロックチェーン・テクノロジーは、世界初の暗号資産を発明した基礎技術であると言われております。

そして今、社会インフラとなりつつあるブロックチェーン関連企業に注目した株式ファンドを  
投資家の皆様に提供いたします。

## ブロックチェーンの重要なポイント

- ・ 悪意あるユーザーが含まれていた場合でも正常な処理が行われること
- ・ 過去の合意が覆らないこと
- ・ 改ざんの検出が容易であること
- ・ システムの利便性が高く、高い完全性を持つこと



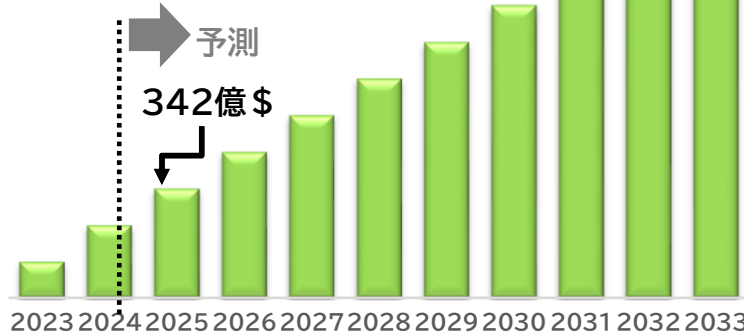
## ブロックチェーン技術の潜在的市場規模

世界市場規模予測

45.2%

6756億\$

2025-2033 年平均成長率



出典: Market Data Forecast analysis

## 日常生活における応用可能分野



デジタル通貨



財産権と特許



サプライチェーン  
マネジメント



ヘルスケア



不動産



デジタルID

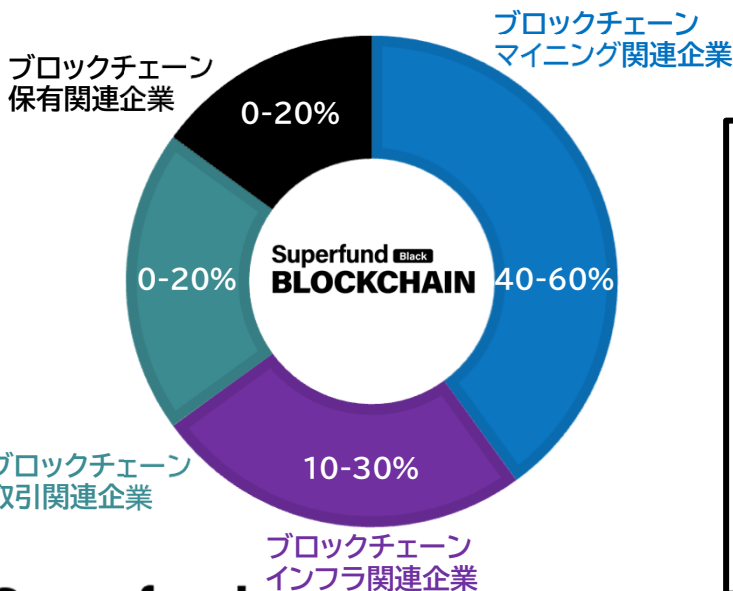


法律



エネルギー

## 参考ポートフォリオの例



Superfund **Black**  
**BLOCKCHAIN**

## 資産および国別配分の例

資産配分(2025年12月末)

- ◆ ブロックチェーン:マイニング関連企業 40-60%
- ◆ ブロックチェーン:インフラ関連企業 10-30%
- ◆ ブロックチェーン:取引関連企業 0-20%
- ◆ ブロックチェーン:保有関連企業 0-20%
- ◆ 現金・その他 0-40%

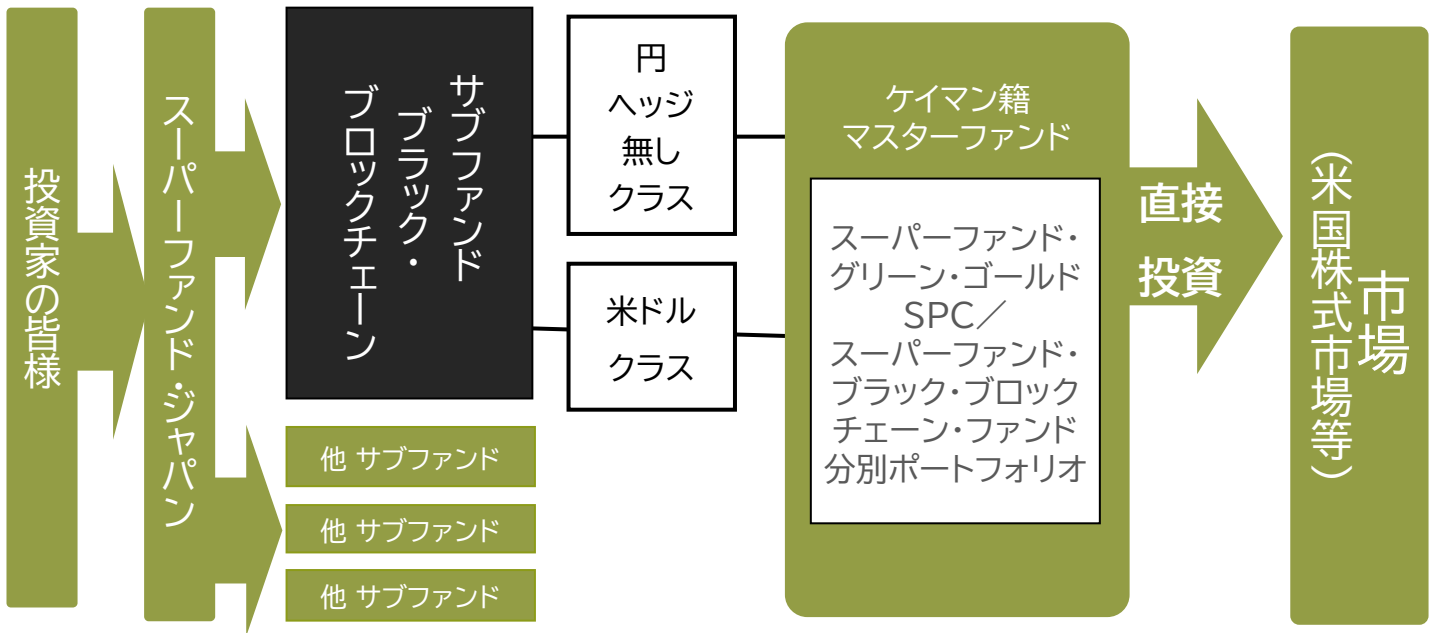
国別配分(2025年12月末)

米国	68.45%
カナダ	9.33%
オーストラリア	7.78%
日本	4.57%
シンガポール	3.66%
香港	3.53%
ドイツ	0.55%


過去の運用実績は将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。お申込みの際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)などの詳細をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。



スーパーファンド・ジャパン:サブファンド ブラック・ブロックチェーン 商品概要



スーパーファンド・ジャパン:サブファンド ブラック・ブロックチェーン お申込メモ

ファンド名称	スーパーファンド・ジャパン サブファンド:ブラック・ブロックチェーン			資料請求 はこちら	
形態	記名式無額面受益証券(オープン・エンド型)				
クラス	円ヘッジ無し・クラス、米ドル・クラス				
発行日	お申込時に発行価格で発行された受益証券は、最終的に、当該発行日に係る評価日現在における当該クラスの1口当たりの純資産価額により、当該評価日に発行されるものとなります。				
発行価格	円ヘッジ無し・クラス(1口100円)、米ドル・クラス(1口1米ドル)				
申込単位	最低投資口数 5,000口(円ヘッジ無し・クラス500,000円、米ドル・クラス5,000米ドル)以上、100口単位 但し、月末最終評価日のお申込においては、最低投資口数1,000口とする				
申込期間	2026年7月1日から2026年6月30日迄(申込期間は、有価証券届出書の提出により毎年更新されます)				
申込締切期日	各評価日(週次)の2ファンド営業日前まで				
購入代金	投資者は、各評価日(週次)の2ファンド営業日前までに申込金(申込手数料含む)をお支払いいただきます。				
申込評価日等 参考例	お申込締切日 X-2営業日	評価日 X	基準価額公表予定日	祝日等により、 日程が変更されることがあります。 別途予定表にて ご確認ください	
	2026/1/30(金)	2026/2/3(火)	2026/2/19(木)		
	2026/2/6(金)	2026/2/10(火)	2026/2/27(金)		
	2026/2/12(木)	2026/2/17(火)	2026/3/4(水)		
	2026/2/25(水)	2026/2/27(金)	2026/3/16(月)		

■ サブファンド:ブラック・ブロックチェーン (当ファンド)のレベルにおける手数料及び報酬等

申込手数料	申込金額に <b>3.30%(税抜3%)</b> の申込手数料率を乗じた額		
買戻手数料	受益証券の買戻請求が当初の申込時から12ヶ月以内になされた場合または強制買戻しが当ファンドによってなされた場合、当ファンドより当該買戻しを請求された受益者に対して、管理会社の裁量により、換金(買戻)価額の <b>2%</b> 相当の換金(買戻)手数料が課される場合があります。この場合、換金された手数料相当額は当ファンドの資産として留保されます。		
管理報酬	純資産価額の <b>年率0.1%</b>	代行協会員報酬	純資産価額の <b>年率0.1%</b>
販売会社報酬	純資産価額の <b>年率1.0%</b>	事務管理報酬	サブファンドにつき年間約5,400米ドル
受託会社報酬	サブファンドにつき年間11,000米ドル		

■ ケイマン籍マスターファンドのレベルにおける手数料及び報酬等

管理報酬	純資産価額の <b>年率1.5%</b>	事務管理報酬	分別ポートフォリオにつき年間12,600米ドル
成功報酬	純資産価額の増加額のうち、 <b>10%</b> (但し、ハイウォーターマーク方式を適用)		

当ファンドにお申込みの際には、必ず目論見書などの詳細をご確認いただき、お客様ご自身でご判断ください。

## 重要事項/投資目的及びご投資にかかる主なリスクについて

**外国籍公募投資信託：スーパーファンド・ジャパン サブファンド：ブラック・ブロックチェーン**(以下「当ファンド」)は、価格変動性を伴う金融商品です。当ファンドは、マスターファンドへの投資を通じて、実質的には主として株式市場に上場された個別銘柄に投資しますので、これらの価格変動等により、当ファンドの1口当たりの純資産価額が投資元本を割り込む場合があります。当ファンドの運用による損益は、すべて投資家(受益権者)の皆様に帰属します。投資信託は金融機関の預金と異なり、預金保険の対象ではありません。

当ファンドは、投資するマスターファンド(その分別ポートフォリオ)が、その資産を直接市場で運用します。スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC(スーパーファンド・ブラック・ブロックチェーン・ファンド分別ポートフォリオ)の投資目的は、世界各地のブロックチェーン・テクノロジーに焦点を当てる株式、証券、その他の証券及びファンドに主として投資することにより、投資目標であるブロックチェーン関連事業の実績における高いシェアの獲得を達成することです。当該投資は、ブロックチェーンのエコシステムに参加する若しくは参加する可能性のある上場企業に対してなされます。かかる企業は、公的に認識されている1つ以上のブロックチェーン・エクイティ指数を構成する企業でなければなりません。

当該マスターファンドは、マスターファンド投資顧問会社が随時選定する特定のトレーディング・ソフトウェアを用いてトレーディング・シグナルを導入することにより、上記目的の達成に努めます。当該ソフトウェアはマスターファンド投資顧問会社によって管理されます。トレーディング・ソフトウェアは、トレンド及び市場の変動によって生じる魅力的な投資機会を識別するため、世界の金融市場からのデータを継続的に分析します。

マスターファンド(スーパーファンド・ブラック・ブロックチェーン・ファンド分別ポートフォリオの場合)は、ブロックチェーン・テクノロジーに関連する証券につき多様なポートフォリオを維持することを目指しています。投資目標を達成するため、マスターファンドは実質価値を保護し、投資によって収益を生むための施策を講じることができます。マスターファンド内の資産クラスのウェイト付けは、マスターファンド投資顧問会社によって決定されます。当該時点の経済及び金融市場の状況並びに金融市場商品の流動性、安全性及び収益性が、判断材料として用いられます。さらに選定基準には、例えば企業の時価総額、市場規模、市場の勢い及びその他のテクニカル指標も含まれる可能性があります。マスターファンドは、投資機会を活かし、最新のトレーディング戦略を利用する予定であるため、将来の運用について、現時点で既定されたものではなく、またいかなる制限を受けるものでもありません。

### 主なリスク

- **価格変動リスク**: 様々な要因による株式市場及び株式個別銘柄の変動を受けて、当ファンドの純資産価額は短期的または長期的に大きく下落し損失が生じるおそれがあります。特に、いわゆるIT分野に対するマーケット環境や暗号通貨の価格変動を要因として、純資産価額の大きな変動が起こる可能性があります。
- **金利リスク**: 金利の下落により受け取る金利収入が減少、また、金利の上昇により保有する公社債の価格が下落する可能性があり、このような金利変動の影響を受けて純資産価額が下落し、損失が生じるおそれがあります。
- **信用リスク**: 組入公社債の発行体等の経営・財務状況の変化等により、利金を支払えなくなったり、償還が予定通りに行われなかったりすることで、純資産価額に損失が生じるおそれがあります。
- **為替リスク**: 当ファンドのサブファンドは円建て及び米ドル建てです。また、円もしくは米ドル以外の外貨建資産に投資する場合もあり、当該外貨の為替レートの変動により基準価額が下落し、投資元本を割込むことがあります。
- **暗号資産の価格変動から影響を受けるリスク**: 暗号資産の価格変動はブロックチェーン・テクノロジー企業の株価にも影響する可能性が高く、純資産価額の変動にも影響を与える可能性があります。

本資料は、スーパーファンド・ジャパンの代行協会員が作成したものであり、金融商品取引法に基づく法定の開示資料ではありません。本資料に記載されている情報は、信頼性が高い情報源よりまとめられたものですが、情報に関する正確性、完全性、信頼性を保証するものではなく、将来の運用成果、市場環境の変動等を保証するものでもありません。また、シミュレーション結果による指数は分析時の見解に基づいたものであり、これらの指数が変更されても本資料を再発行する義務はありません。本資料に記載されている情報等の利用により生じた損害等に対し、当社は一切責任を負いません。当ファンドのお申込みをご検討の際には、必ず目論見書などの詳細をご確認いただき、お客様ご自身でご判断ください。

## 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求 又は その他お問い合わせ先

代行協会員兼販売会社  
スーパーファンド・ジャパン株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第98号  
日本証券業協会会員  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2丁目9番1号  
虎ノ門ヒルズ 江戸見坂テラス11階



又は、スーパーファンド・ジャパン株式会社を所属証券会社とする金融商品仲介業者へお問い合わせください。